

《令和 6 年度の経過と評価》

利用者支援に安心、安全に過ごせる環境を整えて、チーム力、他班との連携、協力体制を整え安定した体制、運営を目指してきた。しかし、今年度も年度途中での離職者により支援体制の不安定な状況になり、人員の確保に努めた。入職してすぐに現場での作業、支援と受入時の体制が整っていなかったこともあり入職者への研修を行うことで法人、事業所を知っていただき、支援に関して理解を深めていただけるよう入職時研修が定着してきた。

職員間の情報共有不足を補うために全職員参加のグループ LINE に予定伝達を行い情報共有できるように整えたが情報、内容不足と課題も多かった。

毎月の班会議、支援会議、職員会議等では報告、確認の場となっており、支援や運営に関しての深堀、検討する場として徐々にではあるがかたちをかねつつある。

法人内全体での支援体制、事業所間の兼務職員の協力体制をとることができたが、兼務することで勤務時間、出勤、退勤時間の違いによつての事業所内での調整等課題も見えた。

地域との関わりでは 8 月に夏祭（太鼓クラブ披露・販売）、11 月には校区文化祭（太鼓クラブ、ダンスクラブ披露・絵画クラブ作品展示・販売）と参加、協力することができた。外部販売、バザー等への積極的な販売活動を奏楽と情報共有して販売協力して進めることができた。

事業運営では定員に満たしていない事もあり見学、実習を受け入れてきた。定員割れをしている生活介護へ 2 月に 1 名利用開始となった。また、実習から卒業後の利用につながった。4 月利用開始となる前に日中一時を利用して少しでも慣れて新年度に迎え入れる体制を整えることができた。

【ばくばくばん】

長年パン製造に貢献された職員の体調不良により年度途中で離職されたことで体制的に不安定な状態を製造、配達等他班職員の協力を得ることができた。しかし、現状のかたちを継続していくことが難しい状態でもあり、新年度に向けてメニューの見直し、パンセットの終了、食パン中心の定期購入セット等前向きに検討することができた。

不安定な状況ではあったがイベント等外部販売に積極的に参加して、アイセロ販売ではれすとらん班、奏楽と協力して月 1 回販売活動に参加できた。

利用者支援では職員体制が不安定となったが利用者工賃を落とさない、生活介護事業の 3 班の中で利益を上げている自負があり製造に迫われ丁寧な支援とまでいかなかった。職員体制を整え、落ち着いて作業ができる環境を整えていく。

【れすとらん班】

店舗集客に向け季節、期間限定メニューを検討し、店舗内ギャラリーを活用しての展示、情報発信して集客は伸びてきた。情報機関紙の掲載されたことで予想以上の来客者となった。客単価が低くなったことで売り上げが思うように伸びていなかったこともあり、外部販売（イベント、弁当受注）にも力を入れ、アイセロへの販売ができないか企画、商談することで月 1 回販売でき、他班、奏楽と協力して販売活動を継続していく。

利用者支援では、丁寧な説明をして、時には作業の細分化をして役割を意識してやりがいをもって作業に取り組むよう行った。時に不安定になった利用者、またその周辺にいる利用者に対して

安全を確保しながら落ち着けるよう支援していたが突発的な時には対応しきれないこともあり作業をしながらも広い視野、利用者の状態把握等対応していけるようにしていくことが求められる。

給食提供についてはグループホーム、すたあと短期入所時への夕食提供を継続、メニューの相談等考慮し栄養バランスを考えた上で取り組むことができた。

【雑貨班】

エサ用コオロギの販売では赤塚山公園への定期的取引の継続、また YouTube や SNS の活用により少しずつ個人客への販売が伸びている。コオロギ繁殖作業が一時うまくいかない時期があり販売を一時停止したこともあった。作業工程の見直し、確認をして改善を図ることができた。委託作業を奏楽から引継ぎ、ニンジンの袋詰めを開始する。利用者への作業分担、支援を検討して安定して取り組むことができた。農作業では果樹に加え、原木しいたけを準備してきたが収穫、販売とはいかず来年度収穫できるよう再度準備することとなった。畑ではニンニク、また冬野菜を栽培して収穫することができ収益に繋げることができた。

生産活動以外で健康延伸活動を積極的に行い、他班利用者の受け入れて健康維持、体重の減少となるよう石巻山への体力づくりを継続して行うことができた。

雑貨職員で兼務をしている方、また送迎へ出てしまう事で職員配置が手薄になってしまうこともあったが確認して調整してきた。

【Pan-Kan 製造センター】

令和 6 年元日に起きた能登半島地震の影響から協力施設名古屋ライトハウスからの製造の協力要請があり 9 月以降 5,000～10,000 缶の製造協力することができた。ライトハウスに卸しすることで売り上げは伸びたが経費の高騰により利益率は低くなってしまった。物価高騰の影響で材料が軒並み価格上がり、製造コスト等意識を高め資材、仕入業者の選定も行った。このような状況もありながら価格を据え置いてたが販売価格、卸価格の見直しを行い、取引業者との関係を維持していけるよう広く持ち情報を集めてきた。

また、お土産用に商品を缶に入れ商品化したいと商談があり、サンプルづくり、価格等商品化に向けて進めている。

《重点課題に対する取り組み》

1. 運営基盤の強化（運営・管理体制・サービス管理）

事業所間の連絡調整、課題確認・検討を中心に協調体制を取ることができた。また、日中活動事業所の童里夢、奏楽での業務の連携、確認を行う事で童里夢運営の課題は多いが、協調体制をとることができた。すたあと、ぱあとなあでの支援体制等業務連携、協調体制をとり調整を繰り返しながら働きやすい環境を作ってく。職員体制では年度途中に退職者がいたことで日々の職員配置、作業設定と負担感が大きくなってしまった。

生活介護では利用定員に満たしていないので見学者、実習を受け入れ定員充足に努めた。今後も今後も見学者を積極的に受け入れ、丁寧な説明と定員充足に努めていく。

運営指導でサービスに対しての記録、確認、保管の不十分なところを何点かのご指摘を受けた。

取り組んでいる記録があると思ひ込み、記録簿冊の保管、内容の不十分なところの指摘を受けました。何を行い（支援、記録）、いつまでに（提出期限）、内容の確認、見直し、保管と確認していく仕組みを整え必ず実施していかなければいけない。

2. 利用者サービスの拡充

生産活動では離職者がいたこともあり支援体制が整わず職員の負担感が増し生産活動と利用者支援のバランスが崩れてしまうこともあった。前年度、特別工賃が支給できなかったことから収益を上げる努力もあり夏、冬の特別工賃を支給することができた。

生産活動を基本としてできることだけでなく作業の細分化することで関わりを持ち、貢献している達成感、自信へとつなげていけるよう取り組みを進めている。

行事では地域と交流のある夏まつり、石巻校区文化祭に参加することができ、事業所では、活動日、童里夢日帰り旅行と企画、準備、実施することができた。法人全体での忘年会については大きな会場がとる事ができず、事業所単位で行われ、地元石巻山ナツメ別館にて開催していつもと違う形で楽しめる機会となった。利用者自治会を通し活動内容等についてニーズを引き出し計画、実施していきたい。

3. 人材育成/支援力の向上

職員体制、現場での職員負担を意識するあまり研修の積極的参加が困難であった。しかし新人職員には権利擁護、虐待防止研修に参加、長年勤めている職員は自己流になりがちで事業所外研修の必要性を感じた。福祉専門職として役割、責任と理解を自覚し利用者支援において意識を養い高められるよう事業所外部研修に今まで以上に参加を促していきたい。また事業所内会議（班会議、支援会議、職員会議）の仕組みづくり、内容の検討を行ってきた。

【障害支援区分別人数】

生活介護

性別	区分 6	区分 5	区分 4	区分 3	区分 2	区分 1	非該当	合計	平均区分
男性	3	7	5	0	-	-	-	15	
女性	1	4	7	0	-	-	-	12	
合計	5	12	11	0	0	0	0	27	4.7

就労継続支援 B 型

性別	区分 6	区分 5	区分 4	区分 3	区分 2	区分 1	非該当	合計	平均区分
男性	0	0	5	3	0	0	0	8	
女性	0	0	1	1	0	1	1	3	
合計	0	0	6	4	0	1	1	12	3.4

【年齢別人数】

生活介護

性別	20 歳未満	20-25	26-29	30-39	40-49	50-59	合 計
男性	0	0	4	4	6	1	15
女性	0	2	1	2	6	2	13
合計	0	2	5	6	12	3	28

性別	平均年齢	最低年齢	最高年齢
男性	38 歳 4 ヶ月	25 歳 0 ヶ月	54 歳 6 ヶ月
女性	38 歳 5 ヶ月	20 歳 7 ヶ月	52 歳 10 ヶ月

就労継続支援 B 型

性別	20 歳未満	20-25	26-29	30-39	40-49	50-59	60-69	合 計
男性	0	0	0	6	1	0	1	8
女性	0	0	2	0	1	0	0	3
合計	0	0	2	6	2	0	1	11

性別	平均年齢	最低年齢	最高年齢
男性	41 歳 6 ヶ月	32 歳 1 ヶ月	67 歳 11 ヶ月
女性	33 歳 9 ヶ月	29 歳 1 ヶ月	42 歳 5 ヶ月

【生産活動 売上金額】

生活介護

月	ばくばくぱん	れすとらん くう	雑貨班	計 (円)
4	393,302	384,820	72,551	850,673
5	358,568	683,530	61,108	1,103,206
6	356,632	379,930	90,514	827,076
7	359,790	327,120	95,887	782,797
8	315,001	307,662	140,001	762,664
9	339,177	393,440	73,307	805,924
10	616,932	510,560	102,258	1,229,750
11	515,646	293,770	83,046	892,462
12	742,185	322,520	109,266	1,173,971
1	305,861	306,340	121,132	733,333
2	319,561	426,000	88,628	834,189
3	354,452	505,963	87,302	947,717
計	4,977,107	4,841,655	1,125,000	10,943,762

就労継続 B 型

月	Pan-Kan 製造センター
4	2,195,556
5	1,633,994
6	1,316,343
7	1,025,022
8	1,971,653
9	6,653,241
10	4,809,738
11	4,703,406
12	4,308,150
1	2,622,114
2	7,216,262
3	4,286,255
計	42,741,734

【原材料費率＝原材料費／売上金】

	ばくばくぱん	れすとらん くう	雑貨班	Pan-Kan 製造センター
売上	4,977,107	4,841,655	1,125,000	42,741,734
原材料	1,340,361	1,977,300	255,692	23,686,467
比率	26.9%	40.8%	22.7%	55.4%

